

平成28年度 地域連携部 年間マネジメント

岩美町立岩美中学校

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成				
重点努力事項	(1)アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何ができるかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。				
分掌重点目標	・将来への夢や目標を持ち、進路実現に向けて学習に取り組む生徒の育成 ・困難なことから逃げず、友達とその課題について乗り越えようとする生徒の育成 ・地域とのつながりを大切にし、地元に貢献しようと動くことができる生徒の育成				
柱となる活動	活動へ向けての努力事項 Do	到達目標	評価基準 Check	成果と課題 Do & Check	来年度への提言 Action
みずから学ぶ活動	◎自学ノートを活用して、自分の課題を克服する生徒の育成 ・各クラスの自学ノートのモデルを掲示する。 ◎各学年のキャリア学習をととして、将来への目標を持ち、進路実現にむけて学習に取り組む生徒の育成 ・1年 ふるさと先生とともに ・ 職業調べ ・2年 ワクワクチャレンジ in IWAMI(職場体験学習) ・ 修学旅行に向けて ・3年 修学旅行 ・ 休日補充学習	・自学ノートを毎日提出することができる。 ・将来への具体的な夢や目標を持つことができる。	・自学ノートの提出率80% ・将来への夢や目標があるについて肯定的評価85%		
	◎メディアとの付き合い方を考え、視聴時間等のコントロールを自らできる生徒の育成 ・生徒、保護者へのメディアとの付き合い方の啓発 ・生活日誌へ記録し、自己評価 ◎チャレンジデーで挑戦する目標を定め、それに向けて努力する生徒の育成 ・チャレンジデー記録用紙を毎回提出	・平日はメディアと接する時間を2時間以内とする。 ・目標を持って自主的に実施する。	・平日のメディアと接する時間2時間以内が60% ・実施率8割		
みんなと生きる活動	◎地域行事に積極的に参加し、地域から期待される生徒の育成 ・町区長の生徒を中心として、参加、役割分担等を自主的に行う町区別生徒会の運営 ・夏休みボランティア体験教室への積極的参加(特に3年生)	・地域行事等の積極的な参加 ・校内ボランティア活動に年間に一度は関わる	・参加についての肯定的評価75%以上 ・参加についての肯定的評価が85% ・感想による肯定的記述8割		
	◎校内でのボランティア活動に友達と誘い合って参加する生徒の育成 ・JRC委員会のボランティア活動 ◎異校種との交流をととして、関わることの大切さを学ぼうとする生徒の育成 ・赤ちゃんふれあい体験、小6・中2交流会、体験入学など ◎誰にでも気持ちの良いあいさつができる生徒の育成 ・若鷲あいさつ見守り隊 ・若鷲見守りDAY	・体験を通して自分の考え方に変化が起きる ・登下校中、校内でのあいさつの活性化	・参加者から地域での生徒のようすの聞き取り(肯定的な評価)		